

現代美術の ハードコアは じつは世界の 宝である展

ヤゲオ財団コレクションより

Guess What?
Hardcore Contemporary Art's Truly
a World Treasure:
Selected Works from YAGEO Foundation Collection

アート、開きました。



マーク・クイン(ミニチュアのヴィーナス) 2008年 ヤゲオ財団 ©Marc Quinn

2014.6.20(金) - 8.24(日) 東京国立近代美術館

開館時間: 午前10時 - 午後5時(金曜日は午後8時まで)、入館は閉館30分前まで

休館日: 月曜日(7月21日は開館)、7月22日(火)

主催: 東京国立近代美術館、ヤゲオ財団 協力: 全日本空輸株式会社、ヤマトロジスティクス株式会社



The National Museum of Modern Art, Tokyo

この展覧会では約40作家、約75点の作品が展示されます。

アーティストは、常玉(サンキュウ)、フランシス・ベーコン、ザオ・ウーキー、アンディ・ウォーホル、ゲルハルト・リヒター、杉本博司、蔡國強、ロン・ミュエク、ピーター・ドイグ、マーク・クイン(以上、生年順)など、現代美術の挑戦者であり中核(ハードコア!)と言える人ばかり。作品もトップクラスのものがやってきます。

ともすれば、「難しい」とか「自分にもつくれそう」と言われがちな現代美術の作品ですが、タイトルが示すように、じつは、ふたつの意味で「世界の宝」ではないかということ、今回の展覧会は言おうとしています。

ひとつは、市場価格あるいは保険評価額的に、それは「世界の宝」です。ときおり報道されるように、現在、オークションでは、生きているアーティストの作品でも数十億単位の金額をつけることがあります。本展にもそうした作品がいくつも入っています。もうひとつは、美術史的な意味でもそれは「世界の宝」なのです。優れたアーティストとは、いま表現すべきことを、これまでのアートの歴史を踏まえつつ、未来においても色あせることのない形で表現しようとする人のことです。彼らの作品は、たとえばちょっと滑稽に見えたとしても、今を生きる私たちと無縁ではありません。そして、様々な表現が世の中にあふれかえっている中で、時代の試練に耐えて訴えかけ続けようとするものなのです。ですから、やはりそれらは、「世界」にとってかけがえのない存在だと言えるでしょう。

本展では、そうした「世界の宝」である「現代美術のハードコア」を、「ミュージズ」「崇高」「記憶」「新しい美」といったキーワードを使いながら10章に分けて展示いたします。

ところで、「コレクションによる展覧会」というと、「テーマのない名作展なんて…」と考える人もきっといるでしょう。でも、少なくともふたつの点で、本展はひと味違います。まず、美術史における連続性を表現することに挑んでいる点です。こうした、ある意味、当たり前前の展覧会がこれまで日本では見られなかったのは、コレクターとのコネクションがなかったり採算性が疑わしかったりしてできなかったためです。今回は、ヤゲオ財団の全面的な協力を得られたことで実現しました。そしてもう一点は、「コレクションによる展覧会」だからこそのインタラクティブな仕掛けをご用意している点です。コレクターの感覚を追体験することができる、ちょっとした「ゲーム」を提供します。この展覧会は、単純に名作を見るのではなくて、作品の「価値」とはなにかを考える場にもなっているのです。この、国内では空前絶後とも言える展覧会をどうぞお見逃しなく!

◆ ヤゲオ財団とは?

台湾資本の大手パッシブ電子部品メーカー、ヤゲオ・コーポレーションのCEOを務めるピエール・チェン氏(Mr. Pierre Tie Min Chen)、その家族、およびヤゲオ・コーポレーションからの寄付金によって創立された非営利の組織。台湾では「國巨基金會」の表記が用いられています。

◆ ヤゲオ財団コレクションとは?

外国の有名な美術専門誌でここ二年間、世界トップ10にランクインしているコレクション。ふたつの軸があり、ひとつは西洋の近現代美術、もうひとつは中国の近現代美術です。この、洋の東西をあわせて持っているという特徴が、ヤゲオ財団コレクションをユニークなものとしています。そしてそれゆえに、今回、同じような特徴を持つ日本の国公立の美術館での展覧会が決まったわけですね。

そのコレクションの選定に関わっているのが、ピエール・チェン氏。彼は、学生時代から、プログラミングで稼いだお金で作品を買うほどのアートファン。その情熱の結果、わずか一代で壮大なコレクションを築きあげました。今では「living with art」「art is accessible」というコンセプトの下、自宅やゲストハウスはもとより、オフィスの中にも作品を展示しています(別荘では、バスルームにマン・レイがあったり、リビングにウォーホルがあったり!)。チェン氏は最近では、自らが所蔵する名画の模写もしていたりと、文字通り、アートともに生きています。

そんなチェン氏が率いるヤゲオ財団は、近年、プライベートでは珍しく、ヘンリー・ムーアやアリスティド・マイヨールやルイズ・ブルジョワなどの彫刻作品も収集しはじめています。今回、一部が来日するそれらは、いずれもミュージアム・ピース・クラスです。なお、ヤゲオ財団が所有する作品の一部は、テートなど、世界的な美術館に寄託されてもいます。





マーク・クイン 《ミニチュアのヴィーナス》

2008年 ヤゲオ財団蔵

©Marc Quinn

クインは、イギリス在住の世界的なアーティスト。ロンドンのパラリンピックの開会式に登場した巨大な妊婦の彫刻で話題を呼びました。今回の出品作のモチーフは、スーパー・モデルのケイト・モスがヨガのポーズをとったところ。金箔で覆われたこの作品の他、18金でできた作品、高さ3メートルにもなる作品(ブロンズ製)の計3点が出品されるという豪華な内容です。



アンディ・ウォーホル 《自画像》

1986年 ヤゲオ財団蔵

©2014 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / ARS, N.Y. & JASPAR, Tokyo E0987

最晩年、亡くなる前年の自画像です。シルバーのウィッグを逆立てたその表情には、どこか哀しみもにじみ出ているような気がします。なお本展に出品されるウォーホルは3点。そのうちの1点は、ジャッキー(ジャクリーヌ・ケネディ)の肖像が、横一列13枚並べられた(これを美術史の用語でフリーズと言います)《ジャッキー・フリーズ》という珍しく貴重な作品です。



ウィレム・デ・クーニング 《無題V》

1975年 ヤゲオ財団蔵

©The Willem de Kooning Foundation, New York / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2014 E0987

昨年ヤゲオ財団コレクションに入ったばかりの作品。もちろん代表作。



ゲルハルト・リヒター 《叔母マリアヌ》

1965年 ヤゲオ財団蔵

©Gerhard Richter, 2014

女の子の腕に抱かれているのは、生後4か月の頃のリヒター本人です。2012年にパリ、ベルリン、ロンドンを巡回したリヒターの大回顧展にも出品されたこの重要作が日本で展示されるのは、今回が初!



アンドレアス・グルスキー 《V&R》2011年 ヤゲオ財団蔵

©Andreas Gursky / Courtesy Sprüth Magers Berlin London / JASPAR, Tokyo, 2014 E0987

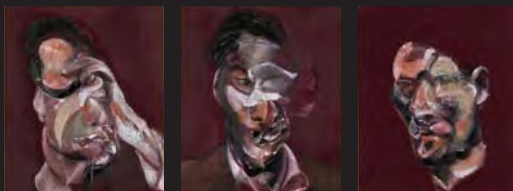
2点を展示。国立新美術館・国立国際美術館での個展は記憶に新しいですが、ヴィクター&ロルフのファッションショーを撮影した《V&R》は小さなサイズでした。本展では、圧巻のフルサイズ(250.3×508.3cm)を展示! もう一点、《メー・デーIV》もフルサイズで出品されます。



杉本博司 《最後の晩餐》1999年 ヤゲオ財団蔵

©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi

蠟人形を撮影した作品。ニューヨークのグッゲンハイム美術館も所蔵していますが(写真作品ですので、エディションがあります)、日本で見られる機会はどうもないはず!



フランシス・ベーコン

《ルシアン・フロイドの肖像のための三習作》1965年 ヤゲオ財団蔵

©The Estate of Francis Bacon. All rights reserved. DACS 2014 E0987

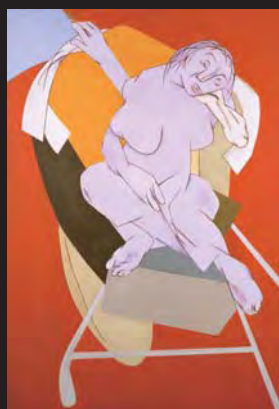
フロイドは画家、精神分析で知られるフロイトの孫にあたります。正面からの肖像に左右の横顔を加えるというフォーマットは、警察で撮られる証明写真に着想を得ているそうです。



トーマス・シュトゥールト《トカマク型装置 (Asdex Upgrade) の内部2、マックス・プランク・プラズマ物理研究所、ガーヒンク》
2009年

ヤゲオ財団蔵 ©Thomas Struth

未来的にもアナクロ的にも見えるこの写真は、ドイツのマックス・プランク・プラズマ物理学研究所にある、とある装置の内部を写したものです。



ティエブ・メータ
《無題 (リキシャに乗った女性)》
1991年 ヤゲオ財団蔵

©The Estate of Tyeb Mehta

ティエブ・メータは、生きていた頃、現存するインドのアーティストでは最も高額とされていました。つまり、その意味でも、インドの現代美術を代表するアーティストです。



ロン・ミュエック《若者》 2009年 ヤゲオ財団蔵

©Ron Mueck Photo: Alex Delfanne

ここ数年、彫刻の収集を強化しているヤゲオ財団は、十和田市現代美術館の常設で人気のロン・ミュエックもすでに3点所蔵しています。これも、非常にリアルに見えますが、実際には65cmしかないというミュエックらしい作品です。アーティストとなる前の彼は、テレビ番組のために人形や模型をつくっていたので、その技術が今、活かされていると言えます。

ポイント

- ✧ 展示作品の保険評価額の総額は、どん引きするくらい高額です(残念ながら詳細は言えません)。
- ✦ コレクター気分を体験できる「ゲーム」を用意し、作品の「価値」を考える場とします。
- ★ かつてない挑戦心と遊び心にあふれた展覧会を目指しています。
- ✧ 作品が多種多様なので、来館者を飽きさせません。

| | |
|--------|--|
| タイトル | 現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより Guess What? Hardcore Contemporary Art's Truly a World Treasure: Selected Works from YAGEO Foundation Collection 略称:「世界の宝展 ヤゲオ財団コレクションより」 |
| 会期 | 2014年6月20日(金)ー8月24日(日) |
| 開館時間 | 午前10時ー午後5時(金曜は午後8時まで、入館はいずれも閉館30分前まで) |
| 休館日 | 月曜日(7月21日は開館)、7月22日(火) |
| 主催 | 東京国立近代美術館、ヤゲオ財団 |
| 協力 | 全日本空輸株式会社、ヤマトロジスティクス株式会社 |
| 会場 | 東京国立近代美術館 1F企画展ギャラリー + 前庭 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1 |
| アクセス | 東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分 |
| 観覧料 | 一般1,200(900)円/大学生500(250)円 *高校生以下および18歳未満、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。 *()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 *「世界の宝展 ヤゲオ財団コレクションより」の観覧券で、当日に限り、「MOMATコレクション」「美術と印刷物」もご覧いただけます。 |
| お問合せ | 03-5777-8600(ハローダイヤル) http://www.momat.go.jp |
| 巡回 | 名古屋市美術館 2014年9月6日(土)ー10月26日(日) 広島市現代美術館 2014年12月20日(土)ー2015年3月8日(日) 京都国立近代美術館 2015年3月31日(火)ー5月31日(日) |
| 同時開催 | 所蔵作品展「MOMATコレクション」所蔵品ギャラリー(4Fー2F) コレクションを中心とした小企画「美術と印刷物ー1960ー70年代を中心に」(2Fギャラリー4) 会期:6月7日(土)ー8月24日(日) いずれも観覧料:一般430(220)円 大学生130(70)円 高校生以下および18歳未満、キャンパスメンバーズ、MOMATパスポートをお持ちの方、65歳以上、障害者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。()は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 |
| 報道関係窓口 | 「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展(世界の宝展 ヤゲオ財団コレクションより)」 広報事務局(共同PR内)内田・今水・山本 Tel:03-3571-5236 / Fax:03-3574-9364 / E-mail:core-pr@kyodo-pr.co.jp |



photo: Norihiro Ueno

関連イベント(予定)

- ✧ 映画上映「ハーブ&ドロシー」
6月21日(土)13:00ー16:30 / 6月28日(土)13:00ー16:30
- ★ 講演会
7月12日(土)14:00ー15:30 保坂健二郎(本展企画者、当館主任研究員)
- ✧ ギャラリートーク
8月1日(金)18:30ー19:30 保坂健二郎(本展企画者、当館主任研究員)
- ✦ 特設サイト
6月にオープンします。お楽しみに!

*各イベントの詳細はHPでご確認ください。

■FAX 送付先: 03-3574-9364 「世界の宝展 ヤゲオ財団コレクションより」広報事務局(共同 PR 内)

現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより 広報用貸出画像 & 読者プレゼント招待券申込書

お名前: _____ ご所属・媒体名: _____

出版物・放送番組名: _____

発行・放送予定日(日時): 2014 年 月 日 : ~ :

ご住所: 〒 _____

TEL: _____ FAX: _____

メールアドレス: _____

* 貸出をご希望するデータの口にチェックをつけてください

| | | | |
|--|---|---|--|
| | 1 | 【展覧会タイトル入り画像、キャプションなし】 | |
| | 2 | マーク・クイン 《ミニチュアのヴィーナス》 2008 年 ヤゲオ財団蔵 ©Marc Quinn | |
| | 3 | ティエブ・メータ 《無題(リキシヤに乗った女性)》 1991 年 ヤゲオ財団蔵 ©The Estate of Tyeb Mehta | |
| | 4 | 杉本博司 《最後の晚餐》 1999 年 ヤゲオ財団蔵 ©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi | |
| | 5 | ゲルハルト・リヒター 《叔母マリアンネ》 1965 年 ヤゲオ財団蔵 ©Gerhard Richter, 2014 | |
| | 6 | トーマス・シュトゥルト 《トカマク型装置(Asdex Upgrade)の内部 2、マックス・プランク・プラズマ物理研究所、ガーヒンク》 2009 年 ヤゲオ財団蔵 ©Thomas Struth | |
| | 7 | ロン・ミュエク 《若者》 2009 年 ヤゲオ財団蔵 ©Ron Mueck Photo: Alex Delfanne | |
| | 8 | アンドレアス・グルスキー 《V & R》 2011 年 ヤゲオ財団蔵 ©Andreas Gursky / VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2014 E1016 | 【8と9の使用条件】 画像は 50cm ² 未満 作品への言及は 400 字以内 |
| | 9 | ウィレム・デ・クーニング 《無題 V 》1975 年 ヤゲオ財団蔵 ©The Willem de Kooning Foundation, N.Y. / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2014 E1016 | |

| 画像データ貸出希望日時 | 月 日 時頃まで | 読者プレゼント招待券 希望枚数 | 組 名(合計 枚) |
|-------------|----------|--------------------|-----------|
|-------------|----------|--------------------|-----------|

プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。
2. データの二次使用は禁止されています。画像データご使用後はすみやかに消去してください。
3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。
4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
6. 掲載紙(誌)は、1部、広報事務局宛にご寄贈ください。web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。
* 画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。
* 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

<報道関係のお問合せ> 「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより」広報事務局(共同 PR 内)
TEL 03-3571-5236 FAX 03-3574-9364 E-mail core-pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 共同 PR 株式会社 内田・今水・山本 宛て

現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより
 広報用貸出画像一覧

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|---|--|---|--|--|---|--|--|--|---|--|--|---|--|
|  |  |  | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1 【展覧会タイトル入り画像、キャプションなし】</p> | <p>2 マーク・クイン 《ミニチュアのヴィーナス》2008年 ヤゲオ財団蔵 ©Marc Quinn</p> | <p>3 ティエブ・メータ 《無題(リキシャに乗った女性)》1991年 ヤゲオ財団蔵 ©The Estate of Tyeb Mehta</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | | <p>4 杉本博司 《最後の晩餐》1999年 ヤゲオ財団蔵 ©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi</p> | | |  |  |  | <p>5 ゲルハルト・リヒター 《叔母マリアンネ》1965年 ヤゲオ財団蔵 ©Gerhard Richter, 2014</p> | <p>6 トーマス・シュトゥールト 《トカマク型装置 (Asdex Upgrade) の内部 2、マックス・プランク・プラズマ物理研究所、ガーヒンク》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Thomas Struth</p> | <p>7 ロン・ミュエック 《若者》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Ron Mueck Photo: Alex Delfanne</p> |  |  | | <p>8 アンドレアス・グルスキー 《V&R》2011年 ヤゲオ財団蔵 ©Andreas Gursky / VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | <p>9 ウィレム・デ・クーニング 《無題 V》1975年 ヤゲオ財団蔵 ©The Willem de Kooning Foundation, N.Y. / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | |
| <p>4 杉本博司 《最後の晩餐》1999年 ヤゲオ財団蔵 ©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi</p> | | |  |  |  | <p>5 ゲルハルト・リヒター 《叔母マリアンネ》1965年 ヤゲオ財団蔵 ©Gerhard Richter, 2014</p> | <p>6 トーマス・シュトゥールト 《トカマク型装置 (Asdex Upgrade) の内部 2、マックス・プランク・プラズマ物理研究所、ガーヒンク》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Thomas Struth</p> | <p>7 ロン・ミュエック 《若者》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Ron Mueck Photo: Alex Delfanne</p> |  |  | | <p>8 アンドレアス・グルスキー 《V&R》2011年 ヤゲオ財団蔵 ©Andreas Gursky / VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | <p>9 ウィレム・デ・クーニング 《無題 V》1975年 ヤゲオ財団蔵 ©The Willem de Kooning Foundation, N.Y. / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | | | | |
|  |  |  | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>5 ゲルハルト・リヒター 《叔母マリアンネ》1965年 ヤゲオ財団蔵 ©Gerhard Richter, 2014</p> | <p>6 トーマス・シュトゥールト 《トカマク型装置 (Asdex Upgrade) の内部 2、マックス・プランク・プラズマ物理研究所、ガーヒンク》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Thomas Struth</p> | <p>7 ロン・ミュエック 《若者》2009年 ヤゲオ財団蔵 ©Ron Mueck Photo: Alex Delfanne</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>8 アンドレアス・グルスキー 《V&R》2011年 ヤゲオ財団蔵 ©Andreas Gursky / VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | <p>9 ウィレム・デ・クーニング 《無題 V》1975年 ヤゲオ財団蔵 ©The Willem de Kooning Foundation, N.Y. / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2014 E1016</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

【8と9の使用条件】 画像サイズは50cm²未満、作品への言及は400字以内とする。